

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020040

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B		
単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	生涯学習推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	学習会、講座の開設		ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	生きがい大学、町民大学、成人講座の開催		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	
	事業費(千円)	3,250	650	650	650	650	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	3,250	650	650	650	650		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	854	454	400	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	854	454	400				
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 生きがい大学の開催10回 町民大学の開催3回 成人講座の開催1回	(実施内容等) 生きがい大学の開催9回 町民大学の開催5回 成人講座の開催1回	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	70%	62%	0%	0%	0%
	全体達成率	14%	26%	26%	26%	26%	
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆				

事業名	生涯学習推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公 輔

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	各学級、講座の開設数及び参加人数	
【抱える課題やニーズは】	自由に学習機会を選択し、共に学び合う支援体制づくり	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各世代の生活向上につながる学習機会の提供	① 生きがい大学10回 町民大学4回 成人講座2回	目標年度 目標値	平成26年度 16回
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	学習成果を地域社会に活かす、自発的な活動への意識づくり	② 生きがい大学500人 町民大学100人 成人講座250人	実績値	15回
			達成度	93.8%
			目標年度	平成26年度
			目標値	850人
			実績値	1,009人
			達成度	118.7%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	生きがい大学	講演会、芸術鑑賞、スポーツ交流、健康教室、西紋地区交流会		
	町民大学	講演会		
	成人講座	書道講座		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	自発的な活動への意識を高めるため、学習支援は必要である。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	学習意欲が向上し、各講座への参加率も高まっている。
有効/概ね有効 /課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	指導者・講師を効率的に活用し実施した。
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全ての町民が参加しやすいように、内容に配慮し実施した。
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
内容を工夫し計画的に実施でき、参加者から継続的実施の要望を頂いている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
新規事業開設に向け、更に情報収集を行いながら、開設に係る周知の充実に努める。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止